

【就職日記】

就職先：地方公務員（教員）

<10月>

◎リクナビ・マイナビ・日経ナビ・en ジャパンに登録。

- ・少しでも気になった企業は即エントリーしたので、エントリー数は90社くらいだった。

◎マイナビが主催する合同企業説明会に参加。

- ・人の多さに驚く。企業の担当者が説明する内容を必死にメモする学生を見て自分も必死にメモを取ったことを覚えている。
- ・学生に人気だったのは、積水ハウスや資生堂、JTB、カゴメなどの大手企業で、特に資生堂の説明会会場には600人以上も詰め掛け入場制限がかけられていた。私は30分前にその会場に到着したが、すでに入場制限がかけられ説明を聞くことすらできなかった。仕方なく名前も聞いたことのない企業の説明会に参加することにしたが、つまらないなどということは決してなく、逆に視野を広げるいい機会だった。3年生のみなさんにも自分の知らない企業の説明会にぜひ足を運んでほしいと思う。知名度がなくても優れた企業はたくさんあるはず。
- ・ちなみにこの合同企業説明会は東京ビッグサイトで行われたが、宇都宮大学から無料シャトルバスが出ていたので交通費はかからなかった。

<11月>

◎合同企業説明会や会社説明会、学内で開催される就活講座に参加。

- ・合同企業説明会では積極的に質問する学生に圧倒される。
- ・会社説明会では、説明を聞くだけでなく実際に学生同士のグループワークをすることもあった。そこで様々な学生の考えを聞くことができ刺激を受けた。説明会では人事と仲良くなろうとする人がいるが、それよりも学生同士の意見交換をした方がためになると思う。
- ・就活講座では就活の進め方やキャリアセンターの使い方などを教えてもらった。キャリアカフェには就活で役立つ本がたくさん置いてあるので、活用すべき。

◎業界研究と自己分析を開始。

- ・業界研究は夏の間にするべきだったと後悔している。しかし業界研究をすることで今まで興味がなかった業界にも興味が湧いてくるようになった。
- ・自己分析は自分一人でやったり友達とやったりした。自分のことは自分が一番知っていそうだが、他人から見た自分は異なって映っていることもある。他人から見た自分はどんな人間なのかを知ると、自分の長所・短所が見えてくる。

<12月>

◎合同企業説明会・会社説明会に参加。

- ・就活だけでなく、今後社会人として生活していく上で大切なことをいくつも学んだ。社会人から話を聞く機会をたくさん作ることは就活でもその後の生活でも重要だと実感した。自分がどんな社会人になりたいのか見えてきた。

◎履歴書用の写真撮影をする。

- ・メイクもやっていただいたのだが、眉毛を異常に太くされた。出来上がった写真を見たがどうしても「気持ち悪い」としか思えなかったので別の写真店で再度撮影をした。

<1月>

◎SPIの勉強を開始。

- ・参考書を買うのもよいが、マイナビやリクナビ、日経ナビでは無料でSPIの問題を解くことができるので活用するのを薦める。

◎教育業界の会社を1社受ける。

- ・1次選考はグループディスカッションだった。自分の意見を述べて終了。特に積極的でも消極的でもなかったため、落ちたと思った。

<2月>

◎教育業界の会社 2次選考を受ける。

- ・無事1次選考通過。2次選考は個人面接だった。内容は面接というよりは会話だった。志望動機など一切聞かれず、30分程度で終了。何も手応えがなく心配になる。

<3月>

◎教育業界の会社 3次選考を受ける。

- ・2次選考も無事通過。3次選考は筆記試験と作文だった。
- ・この翌日、東日本大震災が発生し3月の選考はほぼ全て延期となった。

<4月>

◎教育業界の会社 最終選考を受ける。

- ・意思確認をされ、30分程度で終了。その後模擬授業をした。

<5月・6月>

◎教育業界の会社から内々定を賜る。

- ・初めて内々定をいただいた。しかしすぐには決断できず、就活を続けることにした。

◎教育実習

- ・就活とは関係ないが、1か月間の教育実習のため地元に戻った。
この間全ての就活をストップ。毎日寝る暇がないほど忙しかった。
ゼミに出席することができず、先生やゼミのみなさんには大変ご迷惑をお掛けしました。

<7月>

◎金融業界の会社を1社受け、1週間後に内々定を賜る。

- ・教育実習のため選考を受けることができなかった金融業界の会社から連絡をいただき、選考を受けることとなった。3回目の面接中に内々定をいただく。1次選考から1週間という短い期間で内々定をいただいたので、逆に不安になる。

◎栃木県教員採用試験1次試験を受ける。

- ・学力試験では、教職専門科目と志望する専門科目（英語）に苦戦する。
- ・集団面接では、全く緊張せずに臨んだ。

<8月>

◎栃木県教員採用試験2次試験を受ける。

- ・1次試験の筆記も面接も、自分の中では手応えがなかったので合格したことに衝撃を受けた。
- ・2次試験では個人面接と実技試験でやらかしたので、絶対に落ちたと確信する。

<9月>

◎教育業界の会社の内々定辞退をする。

- ・「あなたは教師に向いている」と説得されたが、様々なことを考慮し辞退。

<10月>

◎栃木県教員採用試験2次試験に合格。

- ・教員採用試験の結果は栃木県のHPに掲載されるだけでなく、合否に関わらず郵送される。合格発表当日、「どうせ落ちている」と思ってHPでは自分の番号を確認せずアルバイトに行く。帰宅後、郵便受けに教育委員会から送られた封筒が入っていた。絶対落ちていると思い、思いっきり開けたら・・・・・・紙に書かれた「合格」の二文字に悲鳴を上げる（笑）。

まずは親に報告すると「教員になれ」と言われた。でも私はすぐに決断できなかった。実は自分の中では「金融業界に行く」と心に決め、内定式にも出席したし同期の友達もたくさんできた。この仲間とだったらずっと働き続けることができると強く思っていた。だから教員採用試験に合格したこと自体は嬉しかったが、猛烈に悩んだ。友達・先生・先輩・キャリアセンターの方・キャリアアドバイザーの方・アルバイト先のパートさん、、、相談できる人全てに相談した。採用に関する書類の提出期限 2 日前まで、毎日悩んだ。

「人生でもうこれ以上悩むことはないだろう」と思うくらい本っ当に散々悩んだ結果、「教員」を選んだ。

<これまでを振り返って>

今でも本当にこれでよかったのか、確信が持てないままです。でも、もう決めたからにはやるしかないとも思います。

私が就活をした時期は東日本大震災もあって本当に大変な時期でしたが、家族・友達・先生・先輩・キャリアセンターの方・キャリアアドバイザーの方・アルバイト先のパートさんなどたくさんの方々に支えられてここまでくることができました。とても感謝しています。感謝してもしきれません。今度は私が社会に出てたくさんの人たちを支えていきます。

ちなみに金融業界の会社の内定式で仲良くなった友達とはいまだに仲良く、つい先日も一緒に旅行に行きました。3年生のみなさんにも就活を通して、色んな人と仲良くなってほしいと思います。

最後に。就活では「着飾った自分」より「素の自分」を出した方が上手くいくと思います。頑張ってください。